

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成17年8月11日(2005.8.11)

【公開番号】特開2003-226874(P2003-226874A)

【公開日】平成15年8月15日(2003.8.15)

【出願番号】特願2002-28504(P2002-28504)

【国際特許分類第7版】

C 0 9 K 17/42

C 0 9 K 17/02

C 0 9 K 17/14

// C 0 9 K 103:00

【F I】

C 0 9 K 17/42 P

C 0 9 K 17/02 P

C 0 9 K 17/14 P

C 0 9 K 103:00

【手続補正書】

【提出日】平成17年1月18日(2005.1.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

ところで、出願人は特公昭56-54034号公報で重炭酸塩系硬化剤として重炭酸ナトリウムおよび／または重炭酸カリウムと、該重炭酸塩に対し10～40%の塩化カリウムとを組み合わせることにより、ゲルタイムが数秒ないし10数秒の短時間でゲル化させる瞬結工法の場面(土質安定用薬液と土壤との混合が困難となる)であっても、十分な強度をあたえる地盤の安定化工法を提案している。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

この特公昭56-54034号公報記載の重炭酸塩系硬化剤を用いた地盤安定化法は、強度の改良に着眼したものであるが、固結や溶解性はいまだ、改良されたものとはなっておらず、改善が望まれていた。また、強度に関しては従来の重炭酸塩系硬化剤を用いた場合に比較して著しい改善がなされていたが、超軟弱地盤のようなさらに強度を必要とする場面においては、いまだ十分とは言えず、更なる改善が望まれていた。